

## 第2回 宇都宮市都市・地域交通戦略策定協議会 議事録

日 時：平成20年5月22日(水) 14:00～16:00

場 所：自治会館4階会議室

出席者：委員24名 ほか

### 開 会

#### 総合政策部長あいさつ

- ・宇都宮市は、今年3月、今後10年間のまちづくりの指針となる第5次総合計画を策定し、中心市街地などの拠点への機能の集約促進と、道路や公共交通の充実による拠点間の機能連携・補完軸の強化による、ネットワーク型コンパクトシティの形成を目指すこととした。
- ・また、本日の新聞に掲載されたとおり「環境モデル都市」に応募したところであるが、そのためにはコンパクトシティへの取組みが重要だと考えており、これからは、人と環境にやさしいまちづくりが、まさに差し迫る持続可能な都市づくりにつながると考えている。
- ・昨年12月の第1回協議会において、将来のまちづくりを見据えた3つの基本理念について概ね御了承いただいたところであり、本日の第2回協議会においては、基本理念を踏まえた将来の交通ネットワークの構築に向けた方向性について御議論いただきたいと考えている。
- ・今後、この方向性を基に、将来の交通ネットワークの構築に向けた各種施策、事業について、取りまとめてまいりたいと考えている。
- ・これからの本市の、よりよいまちづくりを支える実効性の高い交通戦略の策定に向けて、忌憚のないご意見をくださるようお願いする。

#### 森本委員長

- ・本日の議題は4点ある。
- ・まず、議題1と議題2は、非常に密接に関係しているので、一括して事務局から説明した後、皆さんの意見をいただきたいと思う。

#### 事務局（宇都宮市交通政策課・松嶋課長）

【資料1「基本理念について」、資料2「第5次宇都宮市総合計画における将来まちづくりについて」について説明】

#### 森本委員長

- ・ただいまの説明について、質問、討議に移りたい。

#### 保坂委員

- ・基本的な考え方として、資料2に示された交通ネットワークのイメージを構築するには、相当な経費がかかると考えられるが、経済・財政的な面からはどのような考え方なのか。
- ・交通網の構築に当たって、利用者負担だけで必ず採算が取れることを前提としているのか、

市が補助をする前提なのかなどが明確でなく、イメージであれば作れるが、財政的な面を考慮すると限界があると思う。

- ・清原地区に、さきがけ号という名称で地域内交通が整備されたが、地元負担のみでの運行が困難で、市も助成していると聞いており、今回示している交通ネットワークの構築に当たって、市は財政的に支援していく考えがあるのか、或いは、検討していないのか聞きたい。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・公共交通については、これまで事業者任せという部分があったが、公共交通が果たす役割は大変重要であり、行政が支援していくことで考えているが、詳細は、今後、役割分担の中で議論していただきたいと考えている。
- ・一般的な行政の支援としては、概ね半分ということが多いが、公共交通の場合、一概には当てはまらず、例えば地域内交通についても、地域の特性があるので、現時点でどの程度ということとは困難である。

#### 保坂委員

- ・交通事業者の立場から言えば、人口密度が高い地域での運行は、民間企業でも営業的に成り立つが、問題は人口密度が低い地域であり、営業的に成立することが困難である。
- ・しかし、そのような地域や交通弱者を考慮すると、そういった地域にも公共交通は必要であり、そのような場合に行政の支援が必要だと考える。
- ・そのため、交通ネットワークを検討する場合にも、幹となる部分は採算が合うと思うが、枝葉の部分は採算が取れない場合も多いと思われるので、枝葉の部分となる路線にどの程度支援するのかということを検討した上で検討するよう願う。

#### 森本委員長

- ・そのほかの意見はいかがか。
- ・議題1と2を一括して議論しているが、議題1の基本理念については、前回御議論いただき、今回、この内容で合意を得るところまで到達したい。
- ・議題2の第5次総合計画については、交通戦略の上位計画で前提条件に当たるが、この実現のため交通戦略はどうあるべきかという点で、踏み込んだ議論をしていただきたい。
- ・資料2のイメージについては、素案として提案されているが、委員の皆さんの意見をいただいて、第3回には方針を固めたいと思っているので、活発な御議論をいただきたい。

#### 佐藤委員（代理：市川氏）

- ・前日も協議した基本理念について、高齢社会の問題もあるが、環境モデル都市に応募しており、環境が交通戦略の中でどのような位置付けになるか考えた。
- ・今まではスピードを競ってきており、それが今日のクルマ社会であるが、宇都宮市の将来は公共交通等を利用して、スローな社会を構築していくということかと理解した。
- ・ゆっくり歩き走ることで見えてもくるものもあり、環境にもやさしいというつながりがあると理解している。
- ・基本理念の中の1つの考え方として、そのような基調があると訴えたいと思う。

#### 森本委員長

- ・ありがとうございます。事務局では貴重な意見をいただいたと受け止めて欲しい。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・環境について、クルマから公共交通への転換について取組んでおり、そのような考え方で進めていきたく考えている。

#### 森本委員長

- ・環境問題に関しては、基本理念の前文に「地球環境問題に対応するため」と、理念2に「持続可能な交通ネットワーク」という表現で触れている。
- ・環境問題は、非常に重要な位置付けであると我々も認識していると御理解いただきたい。

#### 加藤委員

- ・理念2に、徒歩と自転車と公共交通などの連携が記載されているが、道路交通法の改正により、徒歩と自転車の通行区分が必要な状況になったと思う。
- ・宇都宮市の場合、相当な人数の高校生が駅から自転車で通学しているが、徒歩と自転車がどのように共存するネットワークとするのか、基本的な考え方を聞きたい。
- ・自転車専用道路なども議論していると聞かすが、そのイメージを知りたい。

#### 森本委員長

- ・事務局の説明を願う。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・この後詳しく御議論いただくが、中心部は徒歩や自転車中心に、また、周辺市街地部は学校など自転車利用が多い施設をつなぐ自転車のネットワーク化を進めている。
- ・また、自転車の走行空間については、歩道と車道の状況で、自転車走行空間が確保できる場所では、自転車専用レーンを設ける計画で、今年度、南大通りに整備する計画である。
- ・自転車走行空間の分離が困難な場所では、カラー舗装や標識により自転車走行レーンを設けるという考え方で進めている。

#### 森本委員長

- ・今の回答でよろしいか。ほかにいかがか。

#### 小関委員

- ・基本理念の前文に「持続性が高いまちづくりが必要」と記載しているが、持続性について、何が持続性なのか分かりやすく表現していただきたい。

#### 森本委員長

- ・今のことについては、ご意見ということでもよろしいか。

- ・持続性については、環境面や財政面等の持続性であるが、事務局では御意見と受け止めて表現について検討願う。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・本市が、都市間競争に勝ち抜いて、今後とも発展して行くためにトータルな意味で持続性が高いという表現をしたものである。

#### 森本委員長

- ・今の回答でよろしいか。ほかの御意見はいかがか。

#### 瀧田委員

- ・宇都宮市の将来の公共交通ネットワークのイメージを踏まえて、持続可能な公共機関というような形であると思う。
- ・高齢社会の進行で、移動が困難な高齢者は多くなっており、体の不自由な方のために、公共交通の乗降場所まで移動可能な、ドア・ツー・ドアの送迎システムについても基本理念の中に盛り込むことはできないか。

#### 森本委員長

- ・事務局ではいかがか。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・介護的、福祉的な輸送は、基本理念の中ではなく各種施策の中で対応するものと考えている。

#### 瀧田委員

- ・可能であれば基本理念の中に、高齢者や身体障害者にもやさしいということを追加していただければと思う。

#### 森本委員長

- ・高齢社会への対応は記述しており、特に身体障害者の方への対応に関する表現についてと理解する。事務局ではどうか。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・当然、高齢者や身体障害者の方への対応も考えて施策を位置付けていくが、基本理念としては幅広い対応方針について表現していくものと考えている。

#### 藤本委員

- ・理念1のネットワーク型コンパクトシティという都市のあるべき姿というのは、理念として非常に重要である。
- ・コンパクトシティは、先ほどの御意見のように、保健・医療、福祉圏域や、学校圏域の問題など地域の生活圏と関わっているので、都市交通だけの問題ではないと思っている。

- ・公共交通ネットワークのイメージについて、今後の課題の提起として、生活の拠点を結んでいく、コンパクトシティを具体化する、宇都宮らしいイメージを示して欲しい。
- ・宇都宮市の特徴は、環状道路にあると思っており、その環状道路の内と外でどのようにネットワークをしていくのか、具体的なイメージの中に先ほどの御意見を反映させたらよいのではないかと思う。

#### 森本委員長

- ・事務局ではいかがか。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・今後、そのような表現が可能か検討したい。

#### 大森（宣）委員

- ・先ほどの瀧田委員の意見と同じ考えである。
- ・全国のどこの市町村でも、公共交通に乗れない方々のために、福祉施策としてスペシャルトランスポートサービスを実施しているが、本来は交通戦略の中で考えていくべきものと思う。
- ・福祉部局と連携しながら議論していただきたい。

#### 森本委員長

- ・交通戦略の中にスペシャルトランスポートサービスも位置付け、多様な方に交通サービスを提供できる基本理念にするべきとの意見である。
- ・3人の委員の方から御意見があったので、表現の調整が可能か前向きに検討して欲しい。
- ・基本理念については、環境問題、福祉対策を明記するようにとの御意見があったが、基本的にこの方針で進めるということで御承認いただけるか。

（「異議なし」との発言）

- ・では、基本理念については、一部修正を検討するという御承認いただく。
- ・次に目標とする公共交通ネットワークについては、特に第5次総合計画を受けて、ネットワーク型コンパクトシティを実現するために、交通戦略の位置付けとのつながりは非常に重要だと思う。
- ・一方、交通だけでネットワークはできないので、他の観点からも検討が必要であり、資料2にたたき台の図が提示されているので、皆様からご意見を伺いたい。
- ・第1回から公共交通のネットワークとして、基幹部分と支線部分に分けて、それぞれの利点を活かした魚の骨のようなネットワーク構造が望ましいのではないかと議論している。
- ・その背骨をどこに整備するかという議論があると思うが、資料2では東西軸が非常に弱いので、新たな東西軸を整備し、南北軸のJRや東武と連携をとった骨格を作り、それに合わせた支線部分のサービス水準を上げていくというものであるが、その方針の合意が得られないと先に進めないで、是非、意見を伺いたい。

#### 瀧田委員

- ・先ほどの藤本委員の意見にあったように、将来のイメージに環状道路を加えて、魚の骨だけ

でなく、周囲を循環する交通機関の導入も検討課題の1つとして加えてはいかがか。

#### 森本委員長

- ・今の御意見に対して、事務局ではどう考えるか。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・資料2には、内環状線、外環状線の道路ネットワークを表現しているが、公共交通についても環状的なものも整備していきたいと考えている。

#### 佐藤委員（代理：市川氏）

- ・宇都宮市でクルマが集まり渋滞するのは、競輪場や県庁などの都心部周辺や東部の工業団地があり、その観点から魚の骨の形状を検討していると理解している。
- ・また、クルマ社会からの脱却のために、人が集まり混雑する場所に公共交通を整備して、クルマを使わずに行くことが可能かという観点でも検討すべきだと思う。

#### 森本委員長

- ・今の御意見に対して、事務局ではどう考えるか。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・クルマ社会への対応という点も考慮した上で、高齢社会や環境問題への対応という課題を見据えて、公共交通の充実が求められるという観点からも、案を提示してまいりたい。

#### 加藤委員

- ・目標とする公共交通ネットワークの「拠点間の公共交通ネットワーク化による都市の集約」に、「拠点及び沿線の人口密度を高め、都市の集約を図る」と記載されているが、単に沿線の人口を増加させるだけでは意味がないのではないか。
- ・過去に、交通拠点の整備について検討したが白紙に戻ったと聞いており、単に人口密度を高めるだけでなく、交通拠点の整備という原点に戻って検討することも必要ではないかと思う。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・ネットワーク型コンパクトシティ形成の考え方として、既存の拠点の都市機能を高め、それら拠点をネットワーク化するが、結果的に拠点や沿線居住の公共交通などの利便性が高い場所に居住者を集約するという、将来的なものとしてイメージを提示している。

#### 森本委員長

- ・今の御意見に関連して、交通と土地利用の関係について皆さんと意見を調整したい。
- ・現在の都市構造に合った公共交通サービスを提供するという考え方と、交通が拠点性を高めていくという双方の考え方がある。
- ・交通戦略の前提となる第5次総合計画では、将来的に人を都市機能という拠点性で集約し、その集まったところに十分なサービスの公共交通を整備するという考え方でもある。

- ・一方で、現在の交通弱者にどのようにサービスを提供するかという極めて短期的な議論もあり、時間軸を念頭に議論を整理すべきだと思う。

#### 保坂委員

- ・公共交通は誰のためかという観点が必要であり、最終的には市民全体に対してだと思う。
- ・その上で、優先順位があり、一般的な成人は運転免許を取得しクルマを所持しているので、移動手段は確保されているが、交通弱者については、早く移動手段を確保する必要があり、時間軸を念頭に置くとどこから整備すべきかという議論になると思う。
- ・この場合、幹と枝葉のどちらを先に整備すべきなのかという点では、交通弱者への対応を優先して枝葉を先に整備し、最終的にそれをどのように結んでいくかという考え方があってもいいと思う。
- ・誰のための交通かということをもう少し深く考えて、交通弱者からか通勤対策からかということについて優先順位を検討していくべきだと考えている。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・今後、施策の検討において、どのようなレベル、優先順位かを十分検討して、最終的に取りまとめていきたいと考えている。

#### 磯野委員

- ・まず既存の拠点を優先的に、現在あるものを活かしながらコンパクトシティを形成していくべきだと思う。
- ・また、公共交通ネットワークについては、道路整備等においても、まず大動脈となる道路を整備して、関連する道路で環状化するなどにより幹を形成した上で、支線となる道路は後からつなげていると思う。
- ・その点から、交通というものは、このパターンであり、後から幹線となるものを整備するのでは、つながりが悪くなり、かえって無理が生じてしまう可能性があると考えている。

#### 森本委員長

- ・今の御意見について事務局から何かあるか。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・特にはないが、優先順位などは、この後議論していただきたい。
- ・当然、今ある資源を有効活用する観点や財政面からコンパクトシティの方向性を出しており、そういった考え方にご賛同いただければ、その方向で進めていきたい。

#### 大森（宣）委員

- ・時間軸の議論であるが、ここで議論している将来の姿というのは具体的には何年後なのか、委員の皆さんと共通認識をもった方がよいのではないかと。

### 森本委員長

- ・時間軸について、総合計画は10年先のコンパクトシティを目指しており、交通戦略としても長期としては10年先にどういった都市構造のネットワーク型コンパクトシティを交通で支えるのかという観点で議論すると理解している。
- ・また、4つの地域区分した課題と対応方針を見る限り、短期的な課題への対処という観点でも議論すると理解しているが、そのような理解でよいか。

### 事務局（松嶋課長）

- ・委員長の御指摘のとおり、10年後のまちづくりを見据えた計画であるとともに、具体的な施策、事業の取りまとめについては、短期、中期の取組みにより構成するものと考えている。

### 大森（宣）委員

- ・2017年か2018年には、資料2の将来の公共交通ネットワークのイメージを達成することが目標ということか。

### 森本委員長

- ・目標として、その位までに適切な社会構造に近づきたいというものであると思う。
- ・大きな視点での議論になっているので、市総合政策部の大林委員に、今までの議論を踏まえて、市の総合政策として、また、交通戦略としての考えを聞きたい。

### 大林委員

- ・このたび、第5次総合計画を策定したので、今回、皆様に議論していただいている交通戦略についても、総合計画と一体的に考えながら、これからのアクセスについて、全力をあげて検討していきたいと考えている。
- ・そのために、色々なご意見をいただきたいと考えている。

### 森本委員長

- ・県の池澤委員から、宇都宮市の取組みに関して、何かご助言等があれば伺い。

### 池澤委員

- ・今回も様々な意見があるが、やはり誰もが移動する手段を確保して欲しいという意見が多くあると思う。
- ・第1回協議会でも述べたが、公共交通空白地域の解消とあわせて、軌道系か道路かはいずれにしても、軸が必要だということをしっかり見据えるべきで、その共通認識をもたないと議論が拡散してしまい、基本理念の意味が薄れてしまう。
- ・議論に迷いが生じたときは、基本理念のイメージに立ち戻るものと考えているが、抽象的な表現が多いので、もっと具体化が必要である。
- ・交通軸線をどうするかを固めなくては、公共交通空白地域の解消につながらないと思う。
- ・さらに、行政がこれまで進めてきたまちづくりについても反省し、もう一度中心部に集約することを念頭に置いて議論を進めることが重要であると考えている。

## 廣田委員

- ・感じたことを2点申し上げる。
- ・ネットワーク型コンパクトシティについて、資料2欄外ではコンパクトシティとは、「既存の都市の中心部などを有効に活用して」とあるように、既存拠点の活用は、議論の前提であると思う。
- ・2点目は時間軸についてであるが、宇都宮市には色々な地域があり、それぞれに住んでいる市民の足をどうするかという短期的な対処は理解でき、必要なことだと思っている。
- ・一方、基幹公共交通軸は受益者が多いところであり、これも優先順位が低いとはいえない。
- ・魚の骨に関して、資料2の2枚目に①から③まで記載があり、その記載順序が考え方の基本になっていると考えており、軸のことは事前に考える必要があり、一方、それだけでは公共交通、ドアツードアの交通にもならないので、各地域に行く場合どうするのか検証することも必要だと思う。

## 森本委員長

- ・事務局では貴重な御指摘と受け止めること。

## 緑川委員（代理：早野氏）

- ・本日の新聞に、富山市のライトレールの視察ルポが掲載されているが、富山市の成功要因は、既存のものを活用してコストを下げた結果と書いてある。
- ・新しいものを作っていくというのは、時間的、コスト的な関係から難しいのではないかと考えており、道路や公共交通にしても、既存のものを有効活用して、それを改善、改良していくことが大切かと考えている。

## 森本委員長

- ・本日の議論で、資料2のイメージが固まらないので、次回の協議会では将来イメージを共通認識としたいので、事務局では、それに合う作業を進めて欲しい。
- ・具体的には、基幹公共交通はどういうものを、どの程度のサービス水準をイメージしているのか、どの程度のもを整備すればネットワーク型コンパクトシティが形成できるのか、支線のバスと連携を図るためにはどういったものが必要かなど、池澤委員からご意見があったように、具体的なものを提示して欲しい。
- ・そうでないと、議論が深まらないので、条件の整理程度はした上で、形を整えて欲しい。
- ・併せて、昨年度第5次総合計画が策定され、ネットワーク型コンパクトシティの実現に関して、本年度から2年をかけて都市計画マスタープランの策定作業が始まり、土地利用や拠点の絞込みの議論が進められるので、交通戦略も土地利用と連携を図りながら進めて欲しい。
- ・資料2については、次回、疑問点に踏み込んだ図面を作成してくるということでご理解いただき、次の議題に移りたいと思う。

## 大森（郁）委員

- ・目標とする将来公共交通ネットワークは、一応10年後ということであり、公共交通ネットワークは将来イメージであるが、人口分布や道路等は現状で示しており、10年後の人口分布、

道路や拠点の配置など、コンパクトな都市の姿を示して欲しい。

#### 森本委員長

- ・将来の土地利用のイメージと併せて、協議会の議論で大きく変わってくると思うが、人口分布やコンパクトな姿について、いくつかの前提を作って御議論いただければと思う。
- ・次の議題に移り、最後に時間があれば、御意見をいただきたいと思う。
- ・それでは、議題3について、事務局から説明願う。

#### 事務局（宇都宮市交通政策課・松嶋課長）

【参考資料「宇都宮市都市・地域交通戦略策定スケジュール」、資料3「交通の現状と課題および対応の方向」について説明】

#### 森本委員長

- ・ただいまの説明について、討議をお願いしたい。

#### 赤星委員（代理：飯野氏）

- ・将来の目標の姿が示された一方、資料3の地域区分が、現況を前提にしており整合していない。
- ・資料3には、交通の課題などが記載されているが、ネットワーク型コンパクトシティの方向性を10年位で考えるということなので、現状の拠点、軸となっているところを、将来、どうしていくべきかという方向性をだした方がよいのではないかと思う。
- ・インフラ整備については、いかに効率的に少ない投資で進めていくかということと、既存の資本をどのように活用していくかを考えることが重要。
- ・そのような視点で施策ごとに、時間軸で整理をしていくことが、ネットワーク型コンパクトシティの形成のためには大切ではないか。
- ・既に多くの都市で作成されている都市交通戦略を参考に、いつ、どのような整備、運用をしていくかを整理するとよいのではないか。
- ・軸の議論については、既存の軸を軸として機能させていくための運用という観点も含めて、次回の協議会で考え方を伺いたい。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・現在の都市構造をもとに、地域特性に応じて対応をしながら検討を進めるために、資料3の区分をした。
- ・今後、御指摘のあった点を参考に検討を深めたい。

#### 森本委員長

- ・非常に重要な御指摘をいただいたと思う。
- ・将来の10年先の都市構造に対して、今、議論しているネットワークが機能するのかという視点で機能をチェックしておく必要があるとの御指摘である。
- ・次の段階では、将来の都市像に合った交通戦略になっているか判断できる提示をして欲しい。

#### 廣田委員

- ・地域区分と10年後の都市構造を見据えた交通のあり方について、第5次総合計画、都市計画マスタープランとの関係について説明を願う。

#### 森本委員長

- ・事務局から説明可能か。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・本年3月に第5次総合計画が策定され、また、森本委員長から御紹介があったとおり、本年度から2年かけて都市計画マスタープランが策定される、ゾーニング等も検討するので、土地利用の方針などについて整合性を図りながら進めていきたい。

#### 森本委員長

- ・都市計画マスタープランで本年度ゾーニングをするので、交通戦略も一体的に将来像について検討していく必要がある。
- ・資料3では、現状の課題への対応を出しているのですが、この区分かと思うが、将来像の議論の際には、都市計画マスタープランのフレームと整合性としていただきたい。
- ・交通事業者の委員からも御意見を伺いたい。

#### 根岸委員

- ・交通の現状と課題については、資料3の内容とほぼ同一の認識ができている。
- ・対応の方向については、宇都宮市のまちづくりに関して、交通事業者の責務や役割を強く感じているが、バス事業の実態は、恒常的な運転者不足と、原油高騰などのため厳しい経営環境にあり、新たな取組みは困難である。
- ・一方、効率的な公共交通システムの構築には関心があり、望ましい方向に出るものと期待している。
- ・バス事業者に関係が深い内容が多いことから、実施に当たっては行政と連携を取りながら進めたいと考えている。

#### 森本委員長

- ・交通事業者の委員から順番にお話を伺いたいと思う。

#### 猪森委員（代理：堀越氏）

- ・交通事業者として、資料3にある現状と課題については、解決に向けて努力していきたい。
- ・対応の方向について、公共交通は事業であり、この計画にある公共交通の整備により、利用人員がどのように変化していくのかが示されれば参考になると思う。

#### 大森（郁）委員

- ・現行においても、一定のサービス水準を保っていると思っている。また、毎年のダイヤ改正において、利用者の要望に対して少しずつ改善してきている。

- ・現状でできることを維持しつつ、全体の方向性が見えてきた段階で、できる範囲で協力していきたい。

#### 齊藤委員

- ・交通の課題と対応の方向について、事業者として取り組める部分もあるが、行政としてすぐに取り組める課題も多々あると思われる。
- ・第3回以降で、対応の方向については色々な具体策を立てなければならないのではないかと感じている。

#### 大井委員

- ・資料3の東部産業拠点について、当社の営業エリアであるが、低いバスのサービス水準と記載され、非常に厳しい表現であると感じている。
- ・運行頻度が低いと指摘されるが、我々は企業であり、持続していくためには止むを得ないとの判断であり、そのような地域経済かと考えている。
- ・ただし、公共交通の必要性については十分認識しており、企業として改善できる点は改善していきたい。
- ・対応の方向に、基幹軸が表現されており、その場合のフィーダーバスとして関わると思われるが、現時点では絵に描いた餅とイメージしている。
- ・企業として成り立つのか、社内でもシミュレーションなど、しっかりと検討していきたい。

#### 森本委員長

- ・交通事業者の方々から意見等をいただいたが、事務局から回答又は意見等はあるか。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・対応の方向については、今後、交通事業者の方々と協議していきたい。
- ・これからマイカーから公共交通にシフトしていくことが一番大きな課題であると考えている。

#### 森本委員長

- ・大変厳しい御指摘もあったが、よく資料を見れば事業者としてできそうな内容もあり、行政との連携が必要なものも含まれていると思う。
- ・また、数字が出されなければ検討内容として不十分との御指摘もあったので、それらの点について、何から実施すれば最も効率的なのかという議論を進めていきたい。
- ・交通事業者の方から先に御意見を伺ったが、その他の委員の方でご意見があれば伺いたい。

#### 藤本委員

- ・第5次総合計画が策定され、本年度から都市計画マスタープランが策定とのことで紹介があったが、マスタープランの設定項目は、土地利用や人口分布などとのことであるが、交通戦略の将来イメージとの都市計画マスタープランの将来像の整合性について聞きたい。

### 事務局（松嶋課長）

- ・第5次総合計画のコンパクトシティ実現に向けた実現方策が位置付けられるのが、都市計画マスタープランである。
- ・計画には土地利用や都市基盤整備の方針の他、地域ごとの課題と方針を検討するもので、その中には交通体系についても含まれており、交通戦略と整合するよう調整していく。

### 森本委員長

- ・都市計画マスタープランの検討会はこれから設置されるが、マスタープランはネットワーク型コンパクトシティを実現する手法として、拡散した市街地をコンパクトにする手法を決めるもので、その場合、市場原理に任せては住み替え行動は起こらないと考えている。
- ・その対応として、マスタープランには郊外から都心部への立地誘導の方法論などを盛り込んでいけると考えている。
- ・一方、交通戦略では、位置付けた施策を続けていけば、10年、20年たってみると集約型都市構造に近づいていく、という案を示していきたい。
- ・交通戦略には2つの役割があり、現状の課題対応と、望ましい将来の姿であるコンパクトシティに近づけていくものである。
- ・このため、現在検討している交通戦略において、コスト議論にせず、コンパクトになる道筋をつけないければ、格差型社会が拡大する可能性があるので、土地利用と整合をとった戦略にしていきたい。

### 佐藤委員（代理：市川氏）

- ・環境モデル都市の応募には、2050年までに温室効果ガスの50%削減の計画している。
- ・今後、高齢化と人口減少により、クルマの台数も自然減少するであろうが、自然減少に任せるのではなく、10年後にはクルマの台数がどの程度で、それにより温室効果ガスがどの程度削減できるという目標を掲げるべきであると思う。
- ・一方、目標を実現すれば、拡散したまちは不便になるが、移動手段という機能面で捉え、どう宇都宮市を変えていくかという方向性を示して、交通体系も構築するという考え方が必要ではないかと思われる。

### 森本委員長

- ・貴重な御意見と受け止める。
- ・先ほどは、交通事業者ということで、鉄道、バスを中心に意見を伺ったが、タクシー事業者の方からも意見を伺いたい。

### 保坂委員

- ・タクシーは、鉄道、バスのネットワークの空白地帯が主な営業対象となっている。
- ・そのライバルがマイカーであり、最近ではタクシーの営業エリアを更に狭くしている。
- ・資料3に東部産業拠点方面は、低いバスサービス水準と記載されているが、まさにその地域を営業エリアとするタクシー事業者も多く、影響が大きいことを念頭に検討していただくとともに、タクシーの新たな役割についても検討願いたい。

#### 森本委員長

- ・鉄道、バス、タクシーを公共交通と総称すると理解している。
- ・移動の目的と効率に応じて、鉄道、バス、タクシーと使分けるものであり、先ほどのスペシャルトランスポートサービスに近い運輸については、タクシーの役割が大きいので、鉄道、バスを補完する機能と考えていただきたい。
- ・他に御意見はありますか。

#### 瀧田委員

- ・行政側では、市民に呼びかけてノーマイカーデーなどの取組みは行っているのか。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・毎月1日と15日をバス・鉄道利用デーと位置付けて、普及啓発に取り組んでいる。

#### 瀧田委員

- ・バス・鉄道利用デーが徹底されていないと感じる。
- ・特に市役所や県、大企業など、従業員が多い事業所に対して、更に啓発していくべきだと思われる。そうすることで人や交通の流れが変わってくると思われるので検討して欲しい。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・バスカードの庁舎内販売や、モビリティマネジメントとして車通勤者へのアンケートなど、庁内的にも取組みを進めている。
- ・公共交通の利用しない理由などを分析して、どうしていくかという取組みを進めている。

#### 森本委員長

- ・ノーマイカーデーの充実、そして、一昨年から取り組んでいるモビリティマネジメントについても戦略に位置付けて、公共交通利用促進につながるよう考えていきたい。
- ・他の方にも御意見をいただきたいと思う。

#### 金枝委員

- ・基本理念を確認し、今後の明るい未来像を感じるが、先立つものは予算だと感じる。
- ・交通の整備は絶対必要であるが、本日の新聞の特集記事を読み、LRTができると明るい未来があると感じたが、経費に関する部分を読んで難しいかとも感じた。

#### 森本委員長

- ・本日の新聞の特集記事の最後の部分は疑問を感じた。
- ・事務局で補足説明があればいただきたい。富山市と宇都宮市の状況等を単純に比較しており、誤解されている委員の方もいると思うので説明願う。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・公共交通は、環境や高齢社会への対応という機能面があり、単に予算、経費面のみで検討す

べきものではないと考えている。

#### 事務局（本橋室長）

- ・本日の新聞記事については、「大規模な事業はいかがなものか」という内容であるが、富山市と宇都宮市の事業形態などにより異なり、整備する延長が大きく異なる。
- ・今後、そういったものも含めて検討してまいりたい。

#### 森本委員長

- ・ほかの御意見はいかがか。

#### 瀧田委員

- ・要望書を配布したい。要望事項が3点ある。
- ・1点目は、4月25日の新聞に、佐藤市長がLRTを推進する旨の記事が掲載されているが、バスシステム検討委員会、新交通システム検討委員会、そして都市・地域交通戦略策定協議会を設置して検討していることから、検討の結果として、バス、電車、LRTのどれにするべきか検討する場が3つの組織と理解している。
- ・本日の会議で、市長が考えを表明した上で、会議の意見も尊重するという旨の説明がないことに疑問を感じる。
- ・2点目は、バスシステム検討委員会、新交通システム検討委員会の検討結果を踏まえて、都市・地域交通戦略策定協議会において、方針を決定していくものと理解していたが、最終的には行政が決定すると聞いている。

#### 森本委員長

- ・本日の会議は、宇都宮市の交通全般を議論するものであり、LRTに特化した議論でなく、全体的な視点で検討を願う。
- ・本日の議題について、他の委員の御意見も伺いたいので手短かに願う。

#### 瀧田委員

- ・もう1点は、検討に当たっての心構えについてであり、できれば委員の皆さんに配布願う。

#### 森本委員長

- ・瀧田委員の要望については、時間の関係もあり、本来の議題について検討を進めなければならぬので、預かりとさせていただきます。
- ・福祉関係で、宇都宮市社会福祉協議会の大竹委員の御意見を伺いたい。

#### 大竹委員

- ・中心部に居住しているが、一番困っているのは学生の自転車通学である。
- ・オリオン通りは、自転車の走行により危険なため、高齢者の通行が困難な状況であり、警察では自転車に乗車しての走行ができない規制をしているはずである。
- ・そのため、安易にクルマから自転車に転換を促すのではなく、そのような観点での施策も考

慮していただきたい。

#### 森本委員長

- ・御指摘を参考とさせていただく。
- ・他の委員の御意見を伺う。

#### 楠淵委員

- ・事務局の説明を聞いていて、現在の交通事業者が持続して営業していける方策を進めることが、市民の理解を得やすいと感じた。

#### 新井委員（代理：芝野氏）

- ・3点感想を述べたい。
- ・1点目は、自転車についてであり、本年6月1日の法改正により自転車の通行ルールが変わったが、平成19年度から道路管理者と連携してハード整備を進めており、宇都宮市においては、自転車活用基本計画等に基づいて、ハード整備を含め総合的に進めている。
- ・2点目は、前回協議会でも述べたが、高齢者の死亡事故、高齢者が第一当事者となる交通事故が増加していることから、今後の高齢化社会を考慮すると、クルマから公共交通への転換が進めば、交通事故総量の抑制効果があると期待している。
- ・3点目は、公共交通の整備を違う面から見ると、基幹公共交通の整備に際して、道路交通への影響が大きいとともに、クルマから公共交通への転換が図れなかった場合を想定して、シミュレーションが必要だと感じている。

#### 森本委員長

- ・公共交通の議論が中心となっているが、交通戦略においては道路の整備も重要な課題であるので、飯野委員から御意見を伺う。

#### 飯野委員

- ・資料3の4地区とも道路整備について記載してある。宇都宮市は3環状12放射道路があり、国・県・市の役割分担を決めて整備を進めている。
- ・本年3月に産業通りを整備した結果、クルマやバスの走行が非常に円滑になったと評価を得ている。
- ・また、市民のニーズ把握し、効果的、効率的な道路整備を進める必要な箇所を抽出して宇都宮市道路見える化計画を策定し発表したところであり、交通戦略と連携して、今後とも、必要性の高い道路について分析しながら進めていきたい。

#### 森本委員長

- ・道路整備についても、渋滞や交通事故多発で困っている箇所を科学的に立証しながら、優先順位を決めて、交通戦略と連携しながら進めていただきたい。
- ・一通り御意見を伺ったので、他に御意見がなければ、議題4のその他に進みたい。
- ・意見がないようなので、その他について、事務局から願います。

#### 事務局（松嶋課長）

- ・本日配布した資料，その他の御意見があれば，別添のファクシミリ送信票で送信願う。
- ・次回の協議会については，改めて御連絡する。
- ・瀧田委員からの要望書の取り扱いについては，今後，委員長と協議して取扱いを決定する。

#### 森本委員長

- ・瀧田委員の要望書については，事務局で方針をまとめた上で協議した上で取扱いを決める。
- ・要望書の形式で資料以外に配布することは事務局とよく相談した上で願いたい，御意見等がある方は，事務局にファクシミリ送信票を送付して欲しい。
- ・これをもって議事を終了する。

#### 事務局（横山課長補佐）

- ・ファクシミリ送信票については，御意見がある方は今月中までに送信願う。
- ・以上をもって，第2回宇都宮市都市・地域交通戦略策定協議会を閉会する。